

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果

大学名	長崎大学
整理番号	A-②-8
事業名	日中韓の大学間連携によるインフラストラクチャーを支える人材育成事業

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
(コメント) <p style="margin-top: 20px;">本プログラムは、長崎大学と中国の山東大学、韓国の成均館大学校の連携によるアジア等のインフラ整備・維持管理に貢献できる実践的能力に優れた高度専門職業人の育成を目的に、これまでの日中韓の大学間連携事業の経験を踏まえて土木インフラ分野へと発展させ実施している。</p> <p>これまで、単位互換制度に基づく短期留学やサマープログラムの実施、事業計画を1年前倒してダブル・ディグリー制度による長期留学を実施可能とするなど、3種類の交流プログラムの整備が進んでいる。また、サマープログラムの参加者の中にはダブル・ディグリーを目指す学生もいることから、その効果も評価できる。さらに、日本人学生や外国人学生へのサポートが円滑かつ適切行われるよう、各大学間の十分な連絡・情報共有体制が敷かれており、環境整備が進んでいる。今後、日本人学生へのサポートがより一層充実されることを期待したい。</p> <p>一方、日本人学生の留学希望が少ないことから、相手大学の学生に比べて語学力が不十分なのではないかと危惧する。日本人学生が自信を持って各プログラムへ参加できるように、英語学習だけでなく英語で学ぶ経験が留学前にしっかり積めるような組織体制の構築と実施が急務であり、抜本的な対策が必要である。さらに、英語による授業数も相手大学に比べ少ないことから科目数を充実させることや、派遣先大学の偏りの解消、情報公開やプログラムの成果の広報活動の充実も外部評価を活用しつつ、展開していくことが強く望まれる。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的に事業を展開していくことが期待される。</p>	